

2023

環境経営レポート

- 対象期間：2022.10.1～2023.9.30
- 作成日：2023.12.25
- 更新日：2023.12.25

環境経営レポート 2023

■ごあいさつ

キテックスは、取扱説明書、パーツカタログ、技術マニュアルほか各種マニュアルの企画から制作まで一貫して提供できることで社会に貢献しています。

また、正確に、安全にそして分かりやすく伝えるための技術向上に日々研鑽努力を続けています。それら技術を活かして「環境経営レポート2023」を作成しています。

地球環境は手遅れの一步手前まで悪化してきています。ほんの少しですが環境改善の一助となる活動を続けてまいります。

株式会社キテックス
代表取締役社長
田中 淳一



■CONTENTS

1. 環境理念と活動の規模 3
2. 環境経営目標値と実績 7
3. 社内での環境・改善活動のご紹介 15
4. 事業内容のご紹介 19
5. 法令の遵守状況など 23
6. 代表者の視点から 25

1

環境理念と 活動の規模

私たちの環境活動に対する基本理念と、
活動の規模をご紹介します。

■環境経営方針	4
■登録範囲と事業者活動の概要	5
■実施体制	6

■ 環境経営方針

環境理念

弊社はエコアクション21に取り組み、私たちの日常生活や企業活動が及ぼす環境負荷を常に意識し、地球と地域の環境に配慮した環境経営システムを築くことにより、継続的に環境を保全します。

行動指針

弊社は、環境保全に対する取り組みの行動指針を以下に定め、自主的・積極的に全社一丸となり継続的に推進します。

- ① 環境関連法規や守秘義務を遵守する
- ② 環境経営方針を下記のように定める
 - 2-1 地球温暖化緩和のために省エネルギーを推進する
 - 2-2 3R活動およびグリーン購入により循環型社会を推進する
 - 2-3 経営理念に即した活動により社会貢献と企業価値向上を目指す
- ③ 環境経営レポートを営業ツールとしても利用する
- ④ 全従業員に、この環境経営方針を周知徹底する

田中淳一

制定日：2005年 2月28日

改定日：2024年 2月14日

登録範囲と事業者活動の概要

株式会社キテックス

(2023年度現在)

<div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;"> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 2px 10px;">社 長</div> 代表取締役社長 田 中 淳 一 </div>		
大阪本社	活動規模	東京支社
総務部 ドキュメント企画部 パーツカタログ企画部	部 署	総務部 ドキュメント企画グループ
19人	従業員	6人
626 m ²	床面積	140 m ²
売上高：189 (百万円) 事業年度：10月～9月		
環境保全関係の責任者および担当者連絡先		
大阪市浪速区戎本町2-3-14	住 所	東京都新宿区西新宿7-23-9 西新宿小林ビル302号
TEL： (06) 6649-0295	電話番号	TEL： (03) 5386-6541
パーツカタログ企画部 高 橋 桃 子	責任者	支社長 松 岡 毅
ドキュメント企画部 西 嶋 理 穂 本 田 督 喜 佃 文 弘 パーツカタログ企画部 田之上 欣也	担当者	ドキュメント企画グループ 牛 塚 英 樹 内 野 正 子
全社認証登録範囲 ： 従業員数25名		

■ 実施体制

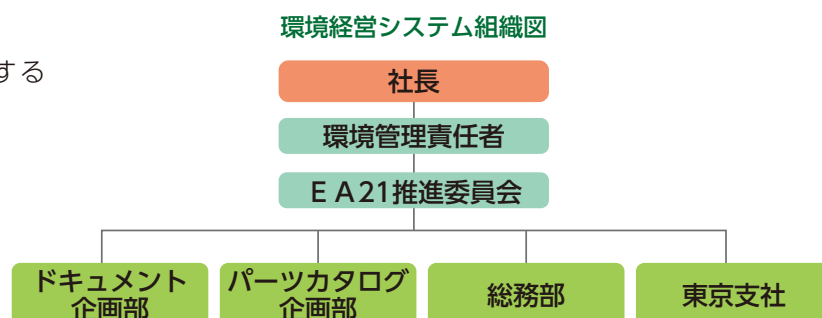
(1) 全般

当社は、E A 2 1 環境経営システムを構築・運用し、環境への取組を実施するために効果的な実施体制を構築する。

実施体制においては、各自の役割、責任および権限を定め、全員に周知する。

(2) 環境活動組織

当社の環境経営システムを運用するための組織は右のとおりとする。



(3) 責任および権限

① 社長

- a. 環境経営に関する統括責任を持つ
- b. 環境経営システムの実施及び管理に必要な、人、設備、費用、時間、技能技術者を用意する
- c. 環境方針の策定・見直しおよび全従業員へ周知を行なう
- d. 環境経営目標の設定を承認する
- e. 代表者による全体の評価と見直しを実施する
- f. 法規制等の要求事項登録簿を承認する
- g. 環境活動実施計画書を承認する

② EA21 推進委員会 (環境管理責任者)

- a. 環境管理責任者、E A 2 1 推進委員会の担当者打ち合わせ
- b. 環境への負荷の自己チェックおよび環境への取組の自己チェックの実施
- c. 「環境関連法規等チェックリスト」の作成
- d. 環境経営目標・環境活動実施計画書原案の作成
- e. 環境活動実施計画の実績集計
- f. 環境経営システムを構築、実施、管理する
- g. 環境関連の外部コミュニケーションの窓口
- h. 環境活動の取組結果を代表者へ報告する

③ 各部門長

- a. 自部門における環境経営システムの実施
- b. 自部門における環境経営方針の周知
- c. 自部門の従業員に対する教育訓練の実施
- d. 自部門に関連する環境経営目標および環境活動計画の実施および達成状況の報告
- e. 特定された項目の手順書作成および運用管理
- f. 自部門の特定された緊急事態への対応のための手順書作成、テスト・訓練・記録
- g. 自部門の問題点の発見、是正、予防処置

④ 従業員

- a. 自部門に対する手順書の順守
- b. 自部門に対する教育訓練の参加

2

環境経営目標値と実績

環境活動への各取組みに目標値を定め、数値を管理しています。

■ 主な環境負荷の実績	8
■ 二酸化炭素排出量	9
■ 電力使用量	10
■ 自動車燃料	11
■ 一般廃棄物排出量	12
■ 水道使用量	13
■ 環境に配慮した商品の提案	14
■ 改善報告書の提出の取組み	14

■ 主な環境負荷の実績

■ 二酸化炭素排出量

	2021年	2022年	2023年
合計 (単位: kg-CO ₂)	↓ 15,579	↑ 16,252	↓ 14,130
二酸化炭素排出係数 (単位: kg - CO ₂ /kWh)	0.318	0.318	0.318

■ 一般廃棄物総排出量

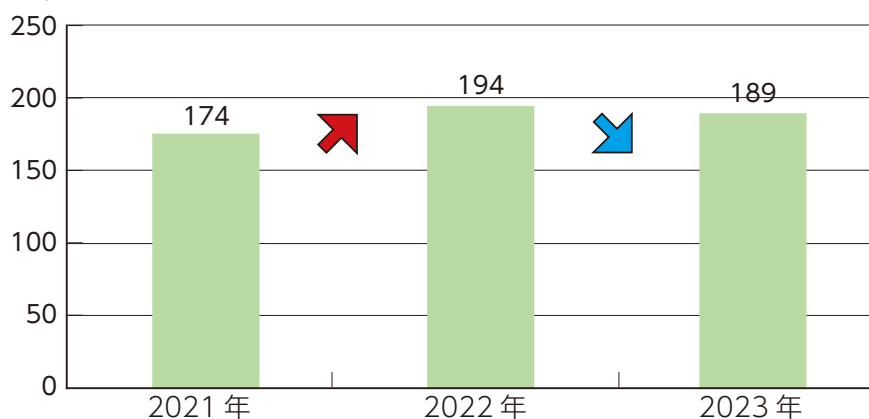
	2021年	2022年	2023年
小計 (単位: kg)	↑ 1,450	↓ 979	↓ 546

■ 水道使用量

	2021年	2022年	2023年
小計 (単位: m ³)	→ 360	↓ 352	↑ 363

■ 売上金額

(単位: 百万円)



(↑ : 前年比上昇 ↓ : 前年比下降 → : 前年比維持)

※年度期間は、10月から翌年の9月まで

二酸化炭素排出量



2022年度の実績を考慮し、2022年度を基準として2023年度の目標を設定した。

二酸化炭素排出量の削減には、電気使用量とガソリン使用量から算出しています。消費電力を削減させることで排出量を抑さえ、また、公共交通機関の積極利用を促して排出量を抑制しています。

※二酸化炭素排出係数は、0.318kg – CO₂/kWh

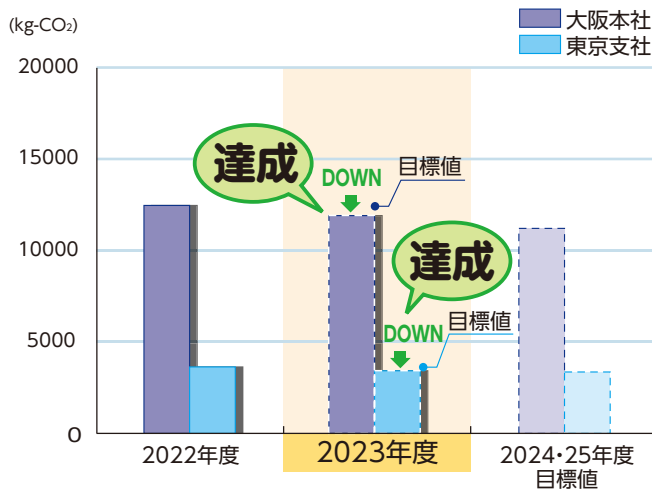
● 二酸化炭素排出量

(単位：kg-CO₂)

年 度	2022年度	2023年度		2024・2025年度
	(実績)	(目標)	(実績)	(目標)
大阪本社	12,542	12,416	11,321	11,207
東京支社	3,687	3,613	3,418	3,350
合計	16,229	16,029	14,739	14,557

※都市ガスは少量のため、目標の二酸化炭素排出量に含まない。

※年度期間は、10月から翌年の9月まで



※都市ガスは少量のため、目標の二酸化炭素排出量に含まない。

[社内での活動例]



サーキュレータで空気を循環する



カッティングボードを利用して、日光を遮断する

● 計画への評価と次年度の取組

評価	▶ 余裕を持って目標値を達成することができた。しかし、業績に比例するところが大きいので、値が低下傾向にあるのは懸念すべき点でもある。
次年度の取組	▶ 業績のことを鑑みると、これまで通り対策を継続しつつ目標値の向上を目指したい。

電力使用量



2022年度の実績を考慮し、2022年度を基準として2023年度の目標を設定した。

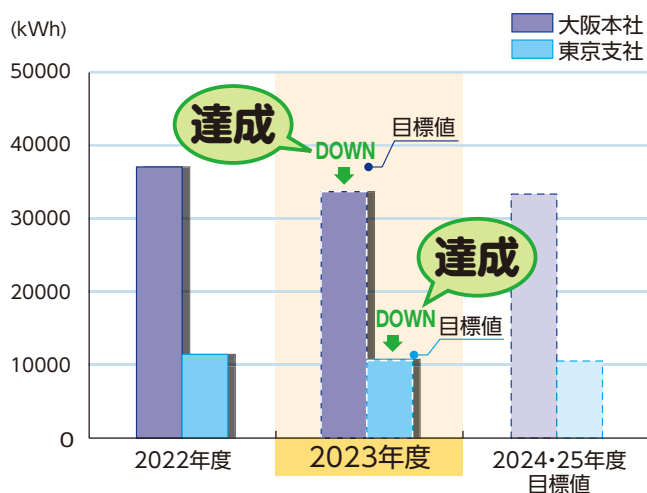
電気の使用量の削減には、社員全員の日々の心がけがとても大切です。部分消灯の実施や、パソコンの電源管理などです。また、各フロアに環境委員を配置し、室内温度の管理を徹底して行うことで、電気使用量に気を付けています。また、エアコンの高効率化にも工夫をしています。

● 電気使用量

(単位：kWh)

年 度	2022年度	2023年度		2024・2025年度
	(実績)	(目標)	(実績)	(目標)
大阪本社	37,424	37,050	33,684	33,347
東京支社	11,593	11,361	10,749	10,534
合計	49,017	48,411	44,433	43,881

※年度期間は、10月から翌年の9月まで



[社内での活動例]



点灯位置をわかりやすく表示し、不要な照明はこまめに消す



踊り場の照明を人感センサー付にすることで、無駄な点灯を抑える

● 計画への評価と次年度の取組

評価

▶ エアコン電力の節約が一番難しい課題ではあるが、1人1人の節約意識は高いと評価できる。その意識によってトータルの基準を下回ることができたのではないと思う。

次年度の取組

▶ 現在の対策を維持しつつ、エアコン電力以外にも節電意識を向けていきたい。

自動車燃料



2022年度の実績を考慮し、2022年度を基準として2023年度の目標を設定した。

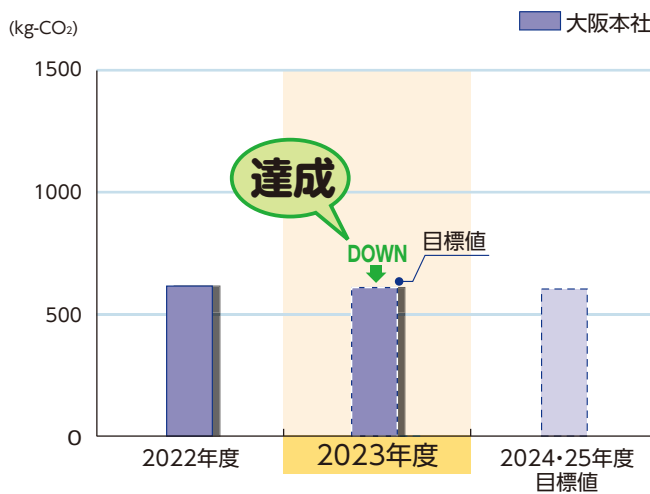
ハイブリッドカーを導入し、自動車燃料の低減に努めています。
また、自動車燃料の削減のために、公共交通機関の積極利用を促して排出量を抑制しています。

● 自動車燃料の削減量

(単位：kg-CO₂)

年 度	2022年度	2023年度		2024・2025年度
	(実績)	(目標)	(実績)	(目標)
大阪本社	641	634	609	603
合計	641	634	609	603

※年度期間は、10月から翌年の9月まで



※東京支社は社用車を保有せず。

【社内での活動例】



ハイブリッドカーの導入で燃料の抑制



ICカードの常備で公共交通機関を積極的に利用しやすく

● 計画への評価と次年度の取組

評価

▶ 目標よりも余裕をもって累計目標を達成することができた。
引き続き気を引き締めて小さな心がけを大切にしていきたい。

次年度の取組

▶ 業務のリモート化が世の中に浸透するとともに外回りの仕事も減少傾向にあるため、来年度以降の結果も踏まえて目標値の見直しが必要になる可能性がある。

一般廃棄物の排出量



2022年度の実績を考慮し、2022年度を基準として2023年度の目標を設定した。

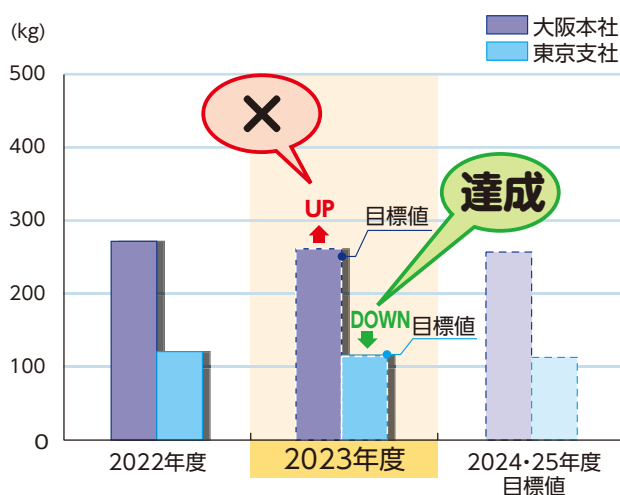
一般廃棄物の削減のために、使用済み用紙の裏紙の利用と、両面印刷・両面コピーを推奨しています。両面使用した紙や紙類全般はリサイクル業者へ委託し、再利用されるようにしています。また、普段より整理整頓に努め、一般廃棄物量の削減を目指しています。

● 一般廃棄物排出量

(単位：kg)

年 度	2022年度	2023年度		2024・2025年度
	(実績)	(目標)	(実績)	(目標)
大阪本社	271	250	260	257
東京支社	120	117	116	113
合計	391	367	376	370

※年度期間は、10月から翌年の9月まで



● 計画への評価と次年度を取組

- 評価** ▶ 大阪本社では削減量が目標に届かなかった。しかし、去年に引き続き削減量自体は向上している。
- 次年度の取組** ▶ 引き続き廃棄物削減の対策を行うと同時に、目標値の見直しを行い無理のない数値を設定する。

水道使用量の目標値



2022年度の実績を考慮し、2022年度を基準として2023年度の目標を設定した。

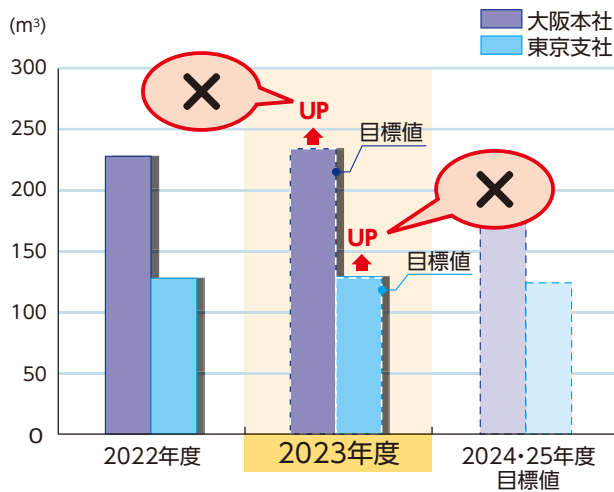
水道使用量の削減のために、社内すべての蛇口に節水コマパッキンを取り付けています。また、消毒液を導入し水道水の使用を節水しています。

● 水道使用量

(単位：m³)

年 度	2022 年度	2023 年度		2024・2025 年度
	(実績)	(目標)	(実績)	(目標)
大阪本社	226	215	234	225
東京支社	126	118	129	124
合計	352	333	363	349

※年度期間は、10月から翌年の9月まで



● 計画への評価と次年度の取組

- 評価** ▶ 今期の水道使用量は目標はおろか前年度よりも多く、特に冬場に使用量が上がっていた。
- 次年度の取組** ▶ 冬場に使用量が上がった原因を解明し、来期の使用量削減を目指す。

■ 環境に配慮した商品の提案



環境に配慮した商品の提案のために、データ納品を推進しています。また、印刷物のムダが出ないように、状況に応じてオンデマンド印刷を提案しています。また協力印刷会社にもベジタブルインクやソイインクの使用を推進しています。



オンデマンド印刷機



ソイインク

※画像はイメージです。弊社内で実際に使用している機器とは異なります。

■ 改善報告書の提出の取組み

個々の社員が取り組んだ改善活動は、報告書として提出され全社で共有しています。業務関連だけでなく、エコや社内環境に関するものも数多くあります。また下記のように、一度提出された内容を別の社員がさらに改善し提出することもあります。

改善① 蛍光マーカーの補充用インク導入



改善② 蛍光マーカー補充タイマー



改善① 蛍光マーカーはインクが切れるとペンごと廃棄していたが、補充用インクの導入によって蛍光マーカー 10本分を補充できるようになった。

問題点 蛍光マーカーを補充液にセットしたまま 10分以上放置すると、液を吸いすぎてしまう。



改善② 蛍光マーカーの補充用インク置き場に持ち運びができるキッチンタイマーを設置し、必要な時間をセットして使うことができるようにした。



キッチンタイマー

日々「KAIZEN」は新しく生まれています。半期に一回、優れた「KAIZEN」には賞を送り、社内全体でさらなる改善意識の向上を図っています！

3

社内での環境・ 改善活動のご紹介

私たちの企業活動には、大規模な工場施設も機械設備も必要ありません。

日々の活動の中で、一人ひとりの社員が環境や自然への意識を高めることが重要です。

また、節水・節電・ゴミの減量といった目標を目指すのみでなく、様々な視点から社内環境を改善し、快適な仕事環境を生み出す努力も行っています。私たちの行う環境・改善内容の一部をご紹介します。

- 環境（緑化）意識への取組み 16
- 緊急事態への対応 18

■ 環境（緑化）意識への取組み



サツマイモの栽培・観葉植物の設置などで、全社員に興味を持ってもらう。

● 屋上の緑化（大阪本社）

サツマイモが熱に強く、手入れが楽とのことで栽培している。社内行事のときに、収穫したものを全社員で食べることで、緑化の意識が高まることを期待。

2014年 開始1年目。思いのほか小さい…。社内行事（バーベキュー）で調理して、みんなで一口ずついただきました。



2015年 夏には青々とした葉が見られ屋上緑化を実現!? これこそサツマイモ! といった大きなサツマイモが収穫できました。



2016年 そろそろ収穫できるも、前年よりひと回り小さい…。

2017年 植えた時期が遅かったのか、土を一度入れ替えた方が良かったのか…。細いサツマイモが多く、来年に向けて要検討。



2018年 超巨大台風21号が大阪を直撃してサツマイモにも大きな影響が。プランターが倒れ中の土が散乱して屋上の排水口が詰まってしまう。その後、1階の窓の外に移動。日当たりが悪かったためか小さいサツマイモしか収穫できず…。

2019年 今年度は一旦休止。改めて来年度に挑戦したい。

2020年

コロナウイルス感染症による緊急事態宣言が発令されている中で、どうなるかと思いつながら、5月にサツマイモの苗を植えました。梅雨の頃、雨が多く日照時間が少なくて心配しましたが、夏の猛暑にも負けずに12月に収穫を迎えました。2015年以上の、過去最高の豊作!



大きなさつまいもがいくつも出てきました



例年より遅く収穫したため、立派なさつまいもに育ちました。虫食いが少しあったのが残念…

2021年

虫食いが大量に発生し、昨年度より大幅に収穫量が減少しました。
来年に向け対策を要検討。

2022年

病気と虫食いの対策のため、今年は農薬を使用しました。
その甲斐もあってか虫食いの被害も少なく、小ぶりのものが多いものの、十分な量を収穫することができました。

2023年

今年も虫食いの被害は比較的少なく抑えることができました。
芋の品種を変えた結果、去年より収穫数は少ないものの一つの体積は増加したように思います。



屋上のプランターで栽培しています



今年の収穫の様子

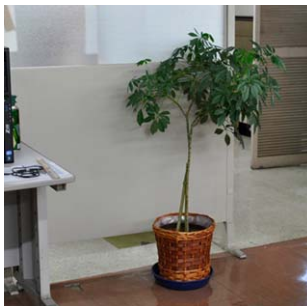


小ぶりですが、しっかりとしたさつまいもができました

屋上に緑が増え、緑化の意識が高まるとともに、収穫の喜びを味わうことができ一石二鳥。
とは言え、台風などの時に散乱しない対策が必要。今後も続けていけるのか・・・。

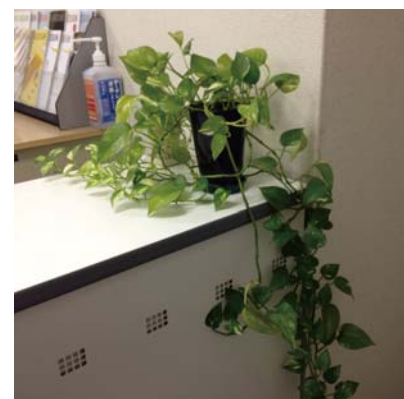
●観葉植物の設置 (大阪本社)

フロアの空きスペースに観葉植物を配置。

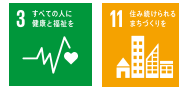


●ポトスの栽培 (東京支社)

空気清浄効果を期待し、株分けが容易で日当たりを気にしなくてよい、ポトスの苗を植えた。

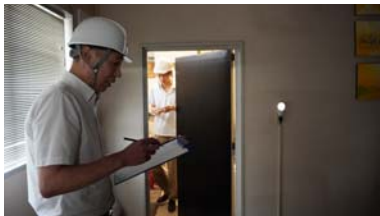


緊急事態への対応



大阪本社、東京支社それぞれにおいて、自然災害や火事などによる避難訓練を毎年実施している。また、非常用の備蓄品も順次用意している。

●大阪本社 (2023年9月8日)



◆避難訓練の様子 (大阪)



◆非常用品の備蓄

●東京支社 (2023年9月18日)



◆避難訓練の様子 (東京)



◆非常用品の備蓄

●防災対策ポケットガイドを作成

災害時における社員の行動指針として、防災対策ポケットガイドを作成し配布しました。



「BCPレジリエンス認証」の認証・登録

近年増加している自然災害や新型コロナウイルスの流行などを受けて、当社でもBCPを策定し、2020年7月に「BCPレジリエンス認証」の認証・登録(認証・登録番号R0000012)を受けました。



●コロナ感染症対策

コロナウイルスに感染しない！ 持ち込まない！ ために。



大阪本社玄関に検温・消毒用機器を設置しました



取っ手に触れずにドアを開けるための治具を取り付けました



各階の入口に消毒液を設置しました



ソーシャルディスタンスを保つため、席の間隔を広げました

4

事業内容のご紹介

弊社の事業内容をご紹介します。

- 各種マニュアル・パーツカタログの制作 …… 20
- SP ツールの制作 …… 21
- その他の技術サービス …… 21
- 新しいコミュニケーション技術への取組 …… 22

■ 各種マニュアル・パーツカタログの制作

■ 取扱説明書・各種マニュアル

- 取扱説明書
- 施工説明書
- 設置説明書
- クイックマニュアル
- サービスマニュアル
- アフターサービスマニュアル etc...



優れたマニュアルは、製品のブランド力を高めます！

キテックスの手がけるマニュアルは、工業製品から家電製品、アミューズメント機器、さらに製品マニュアルやシステムサービスのマニュアルなど、多岐にわたるご要望にお応えします。

詳細な取扱説明書や設置マニュアルから、お手軽なクイックマニュアルまで、お客様の大切な商品を誰にでも分かりやすく表現します。

■ パーツカタログ・部品価格表

- パーツカタログ
- パーツリスト
- 部品カタログ
- 整備マニュアル
- 価格表 etc...



パーツの指定・確認や組立作業を簡略化し、製品の整備や、アフターサービスまでをサポートします！

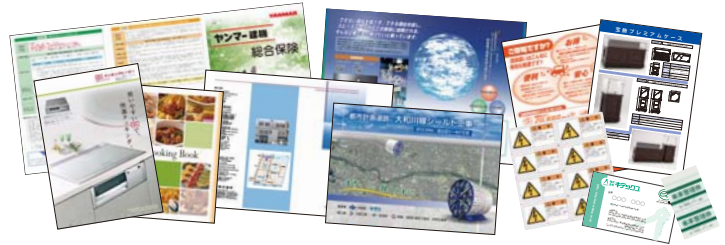
製品の修理・点検にあたり、必要なパーツの確認・指定が簡単にでき、製品の構成や組立の手順などが分かります。

キテックスが創るパーツカタログは、その精度の高い仕上がりにきつとご満足いただけます。

■ SP ツールの政策

■ カタログ・パンフレット・販売促進ツール

- 商品カタログ
- ポスター、チラシ、DM
- パンフレット、リーフレット
- 名刺、封筒、ラベル
- 会社案内
- シールなどの各種印刷物 etc...



企業PRや商品の販売促進に！

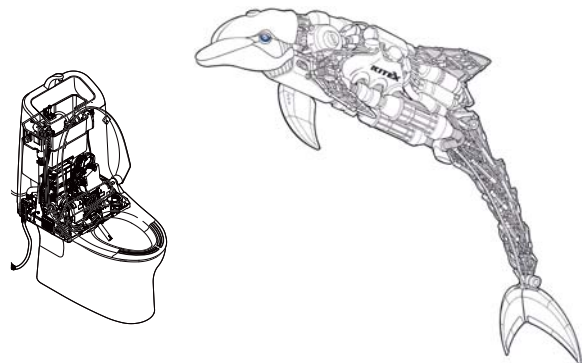
印刷コストを踏まえた最適なツールをご提案します！

企業イメージアップにつながるパンフレットや商品カタログなどの各種印刷物・販売促進ツールなどもおまかせください。

精密・詳細なだけではない、ユーザーの目をひくPOPなイラストや美しいデザインも、キテックスの得意分野です。

■ その他の技術サービス

- テクニカルイラスト
- テクニカルライティング
- DTP デザイン・データ編集
- 多言語翻訳・各種データ変換 etc...



多彩な技術と豊富な知識で、あらゆるニーズにお応えします！

「分かりやすいイラストを描いてほしい」「つくった原稿のリライト・チェックをしてほしい」「既存のデータの改訂作業をお願いしたい」「納期がないんだけど…」 「どう伝えればいいのか？」ほか、幅広いご要望にお応えできます。

経験豊富な私たちは、『困ったときのキテックス』を目指しています。

■ 新しいコミュニケーション技術への取組み

時代はグローバルに、そしてマルチメディアに…

私たちは、未来を見つめた新しいコミュニケーションの形を創造します。

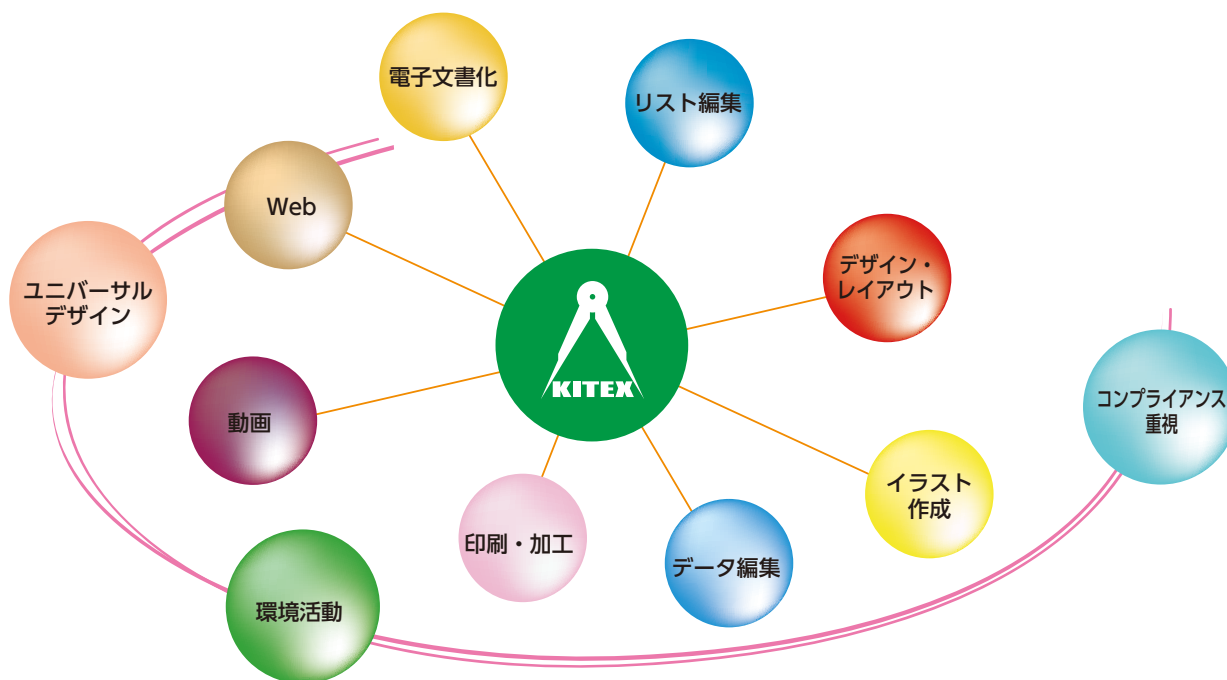
近年、特に重要視される、コンプライアンスに基づいたユーザーフレンドリーなマニュアル制作。

あらゆる言語への展開をはじめ、ユニバーサルデザインを軸にしたグローバルな商品づくり。

さらに印刷物にとどまらない、PDFやwebマニュアル、撮影技術・Flashを用いた動画マニュアルなど。

新しい時代はマルチメディアに広がり、クロスメディアで展開します…

コミュニケーションの可能性は無限に広がり続けます。



情報技術のブランドをめざして…

優れたマニュアルとは何か？

私たちは常に問い続けます。

取扱説明書、パーツカタログなどの技術資料に必要なものは？

カタログ・パンフレットなど、大切な商品を表現するには何が大切か？

印刷物からweb、電子文書など、広がり続けるメディアにどう対応するか？

私たちはお客様の製品と、その先のユーザーとをつなぐかけはしです。

「キテックスの制作である」という安心と信頼を創りだす。

私たちは新しい情報技術のブランドを目指します。



5

法令の遵守状況 など

弊社における環境関連法への遵守状況などの報告です。

- 環境関連法規制の遵守状況…………… 24
- 外部からの苦情、要請 …………… 24

■ 環境関連法規制の遵守状況

- ・ 廃棄物処理に関する条例（大阪市廃棄物条例）
- ・ 東京都廃棄物条例
- ・ 家電リサイクル法
- ・ 顧客要求事項
- ・ フロン排出抑制法
- ・ グリーン購入法

環境関連法規制等の順守状況の定期評価の結果、環境法規制等の逸脱はなかった。
また、過去3年間にわたって違反や訴訟、および関係当局の指摘はなかった。

■ 外部からの苦情、要請

外部からの苦情、要請等はありませんでした。

6

代表者の視点から

今後の目標・活動計画と、代表者による総括です。

■目標・活動計画……………	26
■代表者の総括……………	26

■ 目標・活動計画

従業員にはea21活動の深化が進んでいるように思えます。

機材などの入れ替え時には環境に留意したものを自然に選択しています。

■ 代表者の総括

「エコアクション21」の認証・登録から18年が経ちます。この活動は私たちにとって特別なものでなく、自然と行えるようになっていきます。また2020年には「BCPレジリエンス」の認証・登録をしました。私たちは、ますます厳しくなる地球環境の変化をより意識し、さらに、永らく続けている「KAIZEN」活動、これらを通じて「継続」することの難しさと重要性を従業員が肌で感じているように思えます。

全体の見直し結果と指示

	変更の必要性
環境経営方針	<input checked="" type="checkbox"/> あり <input type="checkbox"/> なし
環境経営計画・目標	<input checked="" type="checkbox"/> あり <input type="checkbox"/> なし
実施体制	<input type="checkbox"/> あり <input checked="" type="checkbox"/> なし

見直し日：2022年12月12日

▶ 変更の理由と指示

2023年度は環境経営方針で企業価値向上の枠組みを明確にし、次の修正追記を検討する。

「コミュニケーションのビジュアル化（わかりやすい取説・ドキュメントの企画、提案、制作）により社会貢献することによって企業価値向上を目指す」のような表現を検討する。

これに対する計画と目標を次のように検討し設定する。

- CAD技術の情報収集、資格取得
- 社内業務のKAIZEN活動による改善
- SDGsの社内啓発と外部への発信

2023 環境経営レポート

株式会社 キテックス
大阪市浪速区戎本町2-3-14
TEL：(06) 6649-0295

SUSTAINABLE
DEVELOPMENT **GOALS**